

# まちづくりは人づくり

—ふるさと自慢ができる「まち」を目指して—

今年第5次長期総合計画（10カ年計画）の折り返しの年。本市は重点施策の一つに「定住」を位置付け、本市の魅力ある「地域資源」を活かし、人や文化、産業などあらゆるものが「交流」するまちづくりに取り組んでいます。

今回の新春座談会では、観光、教育、まちづくりの分野で活動されるゲストの方々をお迎えし、市長、議長とこれからのまちづくりについてお話いただきました。



塩竈市杉村惇美術館



藻塩スイーツ



塩竈神社境内

## 復興実感から実りある年へ

**市長** あけましておめでとうございます。いよいよ未（ひつじ）年のスタートです。未（ひつじ）年は、昔から平和な年になると言われています。今年一年、平和で明るく暮らせる年であればと思っています。本市は震災からの復旧復興に向けてさまざまな対策を講じており、昨年は市民の皆さんに復興を実感していただけるよう、議会ともども市政運営にあたってきました。

今年さらさら実りある取り組みを行ってまいりたいと思います。

**司会** ありがとうございます。出席者の皆さんの自己紹介も兼ねて一言ずつお願いします。

**白幡** 稼業は1957年からのれんをかかいて、今年で58年目に入ります。塩竈は魚のまちとして、寿司には欠かせない素材が豊富なまちです。来店されたお客さまがりピーターになってもらえるよう一生懸命「おもてなし」しながら、今日まで仕事をしています。今年もその気持ちをお忘れずにやっていきたいと思っています。

**芳賀** 当校では昨年度から3年間県の学力向上指定事業を受けており、今年度は「わかった。できた。もっと知りたい。わくわくする授業づくり」という研究主題を設け、子どもにとって、楽しくわかる授業を目指しています。また、子どもたちの自主的な活動を先生方が支えながら、よりよい学校づくり、学校の活性化を図っていききたいと思っています。

**菊池** 鹽竈桜をモチーフとした繭細工などを中心に、地元塩竈のお土産品企画販売を行っています。また、NPOみなとしほがまでは明治初期に建てられた木造3階建ての旧ゑびや旅館の改築を行い、1階部分をカフェ、2階3階部分は建てられた当時の雰囲気再現し、まちの博物館的な意味あいをもつスペースにできるよう今年7月のオープンに向け頑張っています。

**議長** 昨年は災害公営住宅の建設など着実に事業が進んでいく中、本市が抱える課題も見えてきました。観光や食、塩竈の歴史文化など、交流人口を増やすために、議会としても時代に即した政策づくりをしていきたいと思っています。

**司会** ありがとうございます。それは昨年の動きや、皆さんの活動の中で感じている塩竈の魅力、課題などをお話いただきたいと思っています。

## 歴史・文化を知り、ふるさと塩竈に「誇り」を持つ

**白幡** 塩竈大好き市民として、塩竈は特定第三種漁港で全国に13港しかない大きな漁港のもので仕事をさせてもらっています。

また、市内には文化遺産がたくさんあり、「塩竈の文化」に親んでもらいたい、その後、食事を楽しんでいただくアプローチが大切だと思っています。お客さまとの会話で、「寿司食べる前に、神社行ってくださいよ」と言うのですが、私たちがPRしていかなければ裾野は広がらないと思います。



**芳賀 よし子さん**  
塩竈市立第二小学校 校長



**菊池 千尋さん**  
㈱ハレノヒ 取締役  
NPO法人みなとしほがま  
カフェ部会長



**白幡 泰三さん**  
宮城県寿司商生活衛生同業組合  
塩釜寿司業組合組合長  
塩釜すし哲 代表取締役

外国人観光客も少しずつ増えている感じ  
です。今年3月には、国際防災会議が  
仙台であるので寿司業界も、英会話の講  
習会を開き、「おもてなし」の心構えを  
進めています。

**市長** 白幡さんが中心となって海岸通の  
新しいまちづくりを模索されています。  
今までにない機能を付加しながら、食を  
はじめとする新しいまちを作っていく。  
中心商店街を再開し、将来を見据えた新  
しいまちづくりのために、立ち上がって  
いただいています。

**白幡** 港町らしいおしゃれなまちをつく  
りたいですね。女性の方がそぞろ歩きで  
きるような。そうすれば男性は必ず付い  
てきますから。

**芳賀** 昔ながらの港町の食文化に加え、  
藻塩スイーツなど、若い人たちを呼び込  
む新しい「食」が生まれていると感じま  
す。また、鹽竈神社の門前町としての歴  
史もすごく感じています。

教育委員会では「塩竈で生まれ育った  
ことに誇りを持って、そして世界に自分  
自身を発信できることも」を目指してい  
ます。発信するには「まち」を知らなけ  
ればできません。「塩竈カリキュラム」  
でも作って、総合的な学習の時間で子ど  
もたちに「心や行動様式、歴史遺産」な  
どを伝えるのもよいかと思っています。  
**白幡** 塩竈は「食」は外せないんですよ  
ね。一度限りのお客さまになるか、リピ  
ーターになるか。われわれ一人ひとり、  
一軒一軒が、「おもてなし」の心で接す  
れば、間違いなく素晴らしいまちにな  
ると思います。芳賀さんがお話されたよ  
うに、小学校の授業で塩竈の歴史などを教

えていただけると良いと思います。歴史  
を知り、まちを知ること、そのまちを  
好きになります。

**菊池** 塩竈はお寿司屋さんをはじめ飲食  
店も多い。今は「寿司のまち」と言われ  
ますが、お菓子も多いですよ。昨年、  
旧ゑびや旅館でイベントカフェを行った  
とき、地元のお菓子をコーヒー・煎茶の  
セットで提供したところ、「おいしい」  
と喜んでいただき、お帰りの際にお店を  
紹介し、買い求めていただきました。こ  
れからも地元の方のご協力で、新しい試  
みをしていきたいです。

**議長** 子どもたちが誇れるようなまちに  
することが大事だと思います。食や歴史  
文化など、ストーリー性を持ったほうが  
良いと感じています。昨年11月に市内で  
県内議員の研修会を行いました。今後は  
お寿司や地域産業、観光と関わるなど、  
議員研修を交流の渦に巻き込んで地域の  
経済的発展につながればと思っています。

**市長** ミシユラン・グリーンガイド・ジ  
ャポンというのがありますが、本市は二  
つ星なんです。外国から訪れた方々に高  
い評価をいただいています。お住まい  
の方々は自分たちの足元にあるすばらし  
い財産に気が付いていない。本市に内在  
している様々な歴史・文化を掘り起こし  
ていくことこそが、このまちの復旧復興  
になると考えています。昨年11月下旬  
「ふるさとイベント大賞」で「塩竈みな  
と祭」が内閣総理大臣賞（大賞）を受賞  
しました。また、公民館本町分室も「塩  
竈市杉村惇美術館」として新たにオー  
プンできました。



佐藤 昭 塩竈市長



佐藤 英治 塩竈市議会議員



渡辺 恵美さん (司会進行)  
バイウエーブ  
チーフアナウンサー



▲▶オープンが待たれる「旧ゑびや旅館」と、昨年お正月に開かれたイベントカフェ。塩竈の町屋で地元スイーツを楽しみます



▲再開発事業で新たなまちに生まれ変わる海岸通1番2番地区

今後は、杉村惇美術館、旧ゑびや旅館、亀井邸、そして鹽竈神社というような観光動線ができれば、さらに魅力が高まるのではと期待しています。

### 定住人口のキーワードは「子育てにやさしいまち」

**司会** 皆さんが愛する塩竈の今後の方向性などについて、ご意見を伺いたいと思います。

**議長** 地方創生と言われる中で、人口減少の課題を重く受け止め、取り組んでいかなければなりません。20年後、30年後、今以上に発展していくには、二市三町との連携を強化していくことが大切と考えています。

**白幡** 海岸通の再開発について、毎週地元で話し合いをしています。私は子育てが充実したまちづくりをメインにしたいかなと定住人口は増えないと思います。マンションを建てて、人が住めばよいのではなく、マンションの一角に子育て支援施設がある。となれば、若い世代の人たちが住宅を購入すると思います。塩竈はコンパクトシティで、きっちり詰まっている。そういうまちは少ないですよ。市民が自慢できるまちづくりに、プラスアルファで子育て施設の充実をしてみたいと思います。子育てをバックアップする「まち」であれば、人口は絶対増えると思います。

**芳賀** 私も同感です。仙台から20分程度で電車の本数も多い。市内に4つも駅があります。住みよいまちをアピールして

いき、若い人を呼び込む子育てと教育の質を高めることだと思います。そして、高齢者の方が健康で生きがいを作れるようなまち。子育てと高齢者の生きがいがあるまち。子育てと高齢者でなければ、塩竈の価値が上がるのではないのでしょうか。

**市長** 子育てという意味で、学校教育の現場では時代を反映した課題はありますか？

**芳賀** 小学校で伸びる子どもは、「基本的なしつけ」が出来ていると言われています。話を聞くときに、相手を見て聞くことができる子どもが伸びるとか、その素地となるのは就学前に大きな要因があるとのデータもあります。子育てはもちろん子育て、将来のまち・人づくりに繋がっていると、皆さんの話を聞いて思いました。

**菊池** 昨年、イベントカフェで「子どもも見ていられる、広いカフェが欲しかったのよ」と言われました。市内中心部に、美術館や子育て施設があれば、遠くに行く必要がないので、子育て中の人たちは喜ぶのではないのでしょうか。

**芳賀** 全国学力テストの上位県は、地域の共同体が残っているところです。例えば、声を掛けあう関係、地域で子どもを見るなど地域コミュニティを活用することで、人が繋がり、育てていくようなまちになれるような気がします。

**議長** 市民の皆さんや子育て中の方にまちづくりに参画していただいて、新しい塩竈をつくっていく時期に来ていると思います。行政や議会へのご提案を私たちも真摯（しんし）に受け止めていきます。



▲毎日、たくさんの親子連れでにぎわう、しおがま子育て支援センター「こころん」

▼生涯現役を目標に、ダンベルサークルで健康づくり





▲新春座談会は12月1日「塩竈市杉村惇美術館 サロン」で収録しました

## 人口減少に歯止めを。 地域資源を活かして魅力あるまちに

**司会** 皆さんからいろいろなご意見をいただきましたが、お聞きになってどうでしょうか？

**市長** まちを維持していくには、今後定住人口をいかに確保していくかが大きな課題です。毎年度人口が約500人減少していたのが本市の昨今の人口動態です。しかし、平成26年度は、社会増減で127人増加しました。これは、例えば、地震津波で高台に住宅が整備されたことや、一旦転出し、再び塩竈に戻って来られた方もいるだろうと思います。どこに住んでいても、15〜20分程度歩けば、中心市街地に行けるといいう魅力が評価され、社会増減が増加するという転換の時期になりました。

27年以降は、自然減を止めるために、就学前の教育や、まちの中に子どもたちが元気に暮らせる環境を提供することが大切。駅前保育所もその一つだと思います。社会増減では、魅力あるまちをつくるっていく。本市を訪れていた方々が「塩竈いいよね」と、発信していただくことが一番大事だと思います。

また、平成27年は長期総合計画10カ年の折り返しであり、また、震災復興の集中復興期間も5年間なので、東日本大震災からの復旧復興に成果を出さなければなりません。

今年が節目の年でありますので、今、お話しいただいた皆さんの意見を、行政として議会とご相談させていただき、何を

優先的に取り組むか、取捨選択してまいります。

**司会** 最後に一言ずつお言葉を頂戴したいと思います。

**白幡** 年頭にあたり、今年1年災害のない年でありますように、塩竈がますます魅力あるまちだと思っていただけるよう、食文化に携わる立場からこれからも塩竈をPRしたいと思います。

**芳賀** 子どもたち、先生方が元気で安全に楽しく過ごせるように頑張っていくたいと思います。また、子どもたちの学力を向上させていくことが出来たらと考えています。そのためにも日々の指導を通して、先生方の人を育てる能力技術の向上を図っていきたいと思います。

**菊池** 7月には完成予定の「旧ゑびや旅館」でのカフェオープンに向け頑張りたいと思います。オープン後は、旧ゑびや旅館も一つの核となり、塩竈を訪れた方が、元気に帰っていただけるようなまちにしたいと思います。

**議長** 議会の役割も非常に重要な課題を抱えていると感じています。市民の声を政策づくりに切り替えていく時を迎えたと認識しています。

**市長** 出席者の皆さんの「塩竈が大好き」というお気持ちは何よりもうれしかったです。これからのまちを担う子どもたちが大きく羽ばたき、「ふるさととは塩竈です」と誇りを持っていただけるような「まちづくり」の素材を皆さんからたくさん頂きました。私にとって何よりのお年玉でした。今年も皆さんとしっかりと頑張ってまいります。ありがとうございます。

▼小学生が塩竈のまちづくりを真剣に考え、議論する「こどもゆめ議会」



▲駅長オススメの小さな旅「塩竈酒蔵めぐり」を楽しむ観光客の皆さん